

例会記録

日本医史学会 3月例会

平成29年3月25日(土)

順天堂大学センチュリータワー3F北306

【日本医史学会創立90周年記念 特別例会】

第1部 日本医史学会創立90周年記念

酒井シヅ(前理事長)「日本医史学会の90年」

第2部 関連5学会の歴史と現状

日本歯科医史学会 西巻明彦 理事

日本薬史学会 三澤美和 前副会長, 現監事

洋学史学会 青木歳幸 評議員

日本獣医史学会 小佐々学 理事長

日本看護歴史学会 田中幸子 理事

日本医史学会 4月例会

平成29年4月22日(土)

順天堂大学10号館105

1. エボラウイルス感染症から学ぶ事 加藤茂孝
2. 池田瑞仙『痘家看病心得』(1840)にみる痘瘡の看病法 平尾真智子

日本医史学会 5月例会

平成29年5月27日(土)

順天堂大学御茶ノ水センタービル4F第2会議室

1. 1889～2014年のインフルエンザ超過死亡と公衆衛生——ウィルス循環, 経済水準, 予防接種の役割—— 逢見憲一
2. ヴェネチアから緒方家にやって来た“しろばあちゃん” 松田隆秀

例会抄録

水島治夫の府県別生命表と旧植民地生命表,
琉球政府生命表

逢見 憲一

前回(平成27年5月例会)の発表では、沖縄を伝統的に長寿だったとする説の根拠となっている1921-25年分府県別生命表の刊行時期を含め、水島治夫による一連の府県別生命表の初出論文を検討した。

今回の報告では、水島が乳児死亡の届出漏れの問題に初めて直面したと考えられ、また水島の生命表研究の嚆矢でもある『朝鮮住民ノ生命表』における朝鮮住民の生命表、さらに彼の指導を受けた崔義楹や原藤周衛によるその後の朝鮮その他旧植民地住民の生命表や乳児死亡に関する研究を検討し、乳児死亡等の届出の正確性に関する認識の

変化について検討した。

水島は、一連の府県別生命表に先立って刊行された1938(昭和13)年の著書『朝鮮住民ノ生命表』において、朝鮮住民の乳児死亡について、1) 0歳死亡率が1歳死亡率より低いこと、2) 農村住民の乳児死亡率は低い一方で京城の乳児死亡率は農村の3倍と高率であること、などから、公式の統計による乳児死亡率は到底真実とは認容し得ないとした。その上でその理由について、朝鮮では今日でも乳児の死亡を親に先立つ不孝として軽視する風習があり、乳児の死亡を正式に届け出ずに